

Activity Report

奈良YMCA活動報告 2023—2024





Vision

互いを認め合う

「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。「ポジティブネット」Positive Net は、日本の YMCA が作った造語で、互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。課題の多い社会のなかで、それは、生きるためのひとつの選択肢となっていく。私たち日本の YMCA は、グローバルなネットワーク基盤を活かしてポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

— YMCA が実現したい世の中の姿 —

奈良YMCAの沿革

- 1962年 奈良YMCAを発足し、奈良市角振町にて地域の青少年を対象としたプログラムを始める
- 1967年 財団法人設立の認可を受け登記する
- 1970年 奈良市西大寺国見町に青少年センターを建設する
- 1980年 別館（芸術文化センター）を建設・開所する
- 1982年 創立20周年記念事業としてスイミングプールが建設される
- 1994年 韓国・慶州 YMCA とパートナーシップを締結する
フリースクールを開校する
- 1995年 阪神淡路大震災救援ボランティアを募集、延べ約1,800名のボランティアが救援活動を実施
- 1996年 秋篠町に新サッカーグラウンドをオープンする
- 1997年 発達障がい児・者サポートクラスを開校する
- 1998年 「奈良 YMCA の使命」を制定する
中国・西安 YMCA とパートナーシップを締結する
- 2012年 創立50周年記念事業として第1回奈良YMCAインターナショナルチャリティーランを開催
- 2013年 奈良県より公益財団法人として認定を受け、公益財団法人奈良 YMCA と移行する
- 2014年 奈良市より社会福祉法人の認可を受け、社会福祉法人奈良 YMCA 福祉会を設立する
- 2015年 児童発達支援事業所ことりクラブ開設（5月）
YMCA あきしの保育園を開園（8月）
- 2016年 YMCA 西大寺南保育園開園（4月）
- 2017年 創立55周年記念「I PRAY IN 奈良」（8月）
フィリピンカガヤンバレーランゲージ締結（7月）
YMCA あきしの保育園幼保連携型認定こども園に移行（4月）
- 2018年 YMCA なら保育園開園（4月）
- 2021年 多機能型事業所 放課後デイサービスおおぞら開設（4月）
- 2022年 創立60周年

奈良YMCAの誕生は…

ボランティアの熱い志から始まりました

奈良 YMCA の歴史は、奈良ワイズメンズクラブの「百世の古都奈良に YMCA を設立しよう」という祈りと願い、そしてたゆまぬ努力によって、設立に向けての歩みを始めました。

そして1962年5月1日、奈良市角振町に奈良 YMCA は誕生。設立当時から、地域の少年少女を対象とした子ども会、映画会、中学生英会話クラブ、国際親善クラブや、青年のための教養プログラムとして生け花、英会話、ガイド養成など多彩なプログラムが実施されました。発足当時は様々な困難や課題もありましたが、ボランティアリーダーの養成、地域奉仕活動を YMCA の使命として取り組みました。奈良市少年院への訪問活動、肢体不自由児クリスマス会を行いました。まさに、「キリストの愛と奉仕の業」を社会に向けて具体的に実践して参りました。



【ワイズメンズクラブ国際協会とは】

ワイズメンズクラブは、YMCA の活動を支援する人々による奉仕団体として米国に誕生のち、世界各国で様々な社会貢献活動をし、2022年には100周年を迎えました。

【奈良ワイズメンズクラブ】

奈良ワイズメンズクラブは1950年に設立。
会長 中井信一

奈良YMCAの使命

奈良 YMCA につどう私たちは、日本 YMCA 基本原則の精神に基づき、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざを実践し、青少年の精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を願うとともに、平和で民主的な社会の実現をめざします。

私たちは、

1. 人々が互いに尊重し、協力しあって、ともに生きる社会の実現につとめます。
2. すべての人々が生涯にわたる学びをとおして、自己の成長をはかれるよう、学習の場と機会を提供します。
3. ボランティア精神を育てる場とネットワークを創り出し、地域と国際社会に貢献します。
4. すべての生命をいづくしむことの大切さを認識し、人と自然が共生できる地球環境を守ります。
5. 世界の人々との交流をはかり、難民や発展途上国の困難さや痛みを分かち合い、正義と公正社会の実現に努力します。
6. アジアにおける日本の歴史的課題を学びつつ、世界平和実現のために祈り、行動します。

1998年3月31日制定 奈良 YMCA 基本原則検討委員会



奈良YMCA 2023年度 年間聖句

愛をもって
心から尊敬しなさい。
互いに平和に過ごしなさい。

テサロニケの信徒への手紙一 5章13節



ご挨拶

新型コロナウイルス感染症の全世界的なパンデミックにより、以前より脆弱であった部分や不安定もしくは不確実であった部分が露呈され、感染症の終息と反比例するように社会問題化しており、同時に国内外で度重なる災害により弱い立場の方々がより困難な生活を強いられています。

2023年度の年間基本聖句もそのような背景から決定され、YMCAに集う皆さんと日々意識して行動してまいりました。ややもすれば利己主義的な考えが強くなりすぎる現況であるからこそ、奈良YMCAの使命にある「イエス・キリストによって示された愛と奉仕の業の実践」について、我々は今一度深く考え行動していくことが求められています。自分自身を大切に人、自分と同じように周りの人を大切にする人を育み、人と人との間にYMCAが存在し、互いを認め高め合うポジティブネットのある豊かな社会の創出のため微力ながら小さな変化がいつか大きな変化につながると信じ邁進してまいります。

2023年度は、会員・メンバー・園児ならびにボランティアが誇りをもって「参加したい」「支えたいYMCA」となること、スタッフ・職員が誇りをもってYMCAの働き人となることを目指し、また地域の自治体、自治会活動や地域の街づくりに参画し、地域に必要な存在となれるよう取り組んでまいりました。

具体的には、従来の活動に加えて、休刊していた奈良YMCANEWSを復刊し、タイムリーで詳細な活動報告を致しました。またコロナ禍で休止していた国際協力街頭募金を実施しました。奈良YMCAがある西大寺地区の活動に積極的に参画し、地域の方々との繋がりに努めました。

そして2022年度からの継続事業であった奈良YMCA創立60周年記念事業の完成年度とし、2023年7月2日（日）に奈良公園バスターミナルレクチャーホールにて「創立60周年感謝会」を実施し、60年の歩みを振り返りながら今までお支えいただいた方々に感謝の思いをお伝えしました。

創立60周年記念事業の一環であった記念募金では、約560万円の募金を頂き、9月に秋篠サッカーグラウンドのトイレを新設し、12月には別館1階にユニバーサルデザインの多目的トイレが完成しました。ご献金頂きました皆様にあらためて感謝申し上げます。

これからも愛と奉仕の業を実践し、互いを認め高め合うポジティブネットのある豊かな社会を創り出すために、今後もYMCAをお支えいただきますようお願い致します。

感謝とともに、2023年度活動報告とさせていただきます。



会長 北林 秀彦



常議員会議長 前田 敏宏



総主事 上地 信親

青少年センター



新体操クラス



小学生基礎体育クラス



小学生やまびこキャンプ



ハチ高原わくわくスキーキャンプ

青少年センター

未就園児クラスは、2歳児の総合教育クラス（こぐまクラス）として実施しました。幼稚園に入園する前に初めて母子分離を経験し、製作や歌、楽器やリズム体操、体育館での運動遊びを集団生活の中で学びました。5月は平城宮跡、10月には芋ほり体験、親子遠足で楽しい時間を過ごしました。初めての母子分離で保護者の方々とコミュニケーションを密に行い、子どもたちや保護者の方々と良い信頼関係を作ることができました。年度末の劇では成長した姿を見せる事ができ、涙する保護者の方もいらっしゃいました。

幼児基礎体育クラス・小学生基礎体育クラスは、新たな取り組みはありませんが、一人ひとりの子どもたちに合った指導を大切にプログラムを実施しました。子どもたちの成長が日々見られ、保護者の方々から「跳び箱や逆上がりが出来るようになり、子どももイキイキしていきました。」という声も頂けました。

ユーススポーツコースは、サッカー、器械体操、新体操、バスケットボールなど、初心者コースから、サッカー、新体操はより競技力を向上させるコースも設定し、それぞれニーズに応じたプログラムを提供することができました。全てのクラスで個々の成長に寄り添い、一人ひとりにあった指導や言葉がけを大切に、楽しみながら技術を向上していくことができました。2024年度であきしの保育園（現あきしのこども園）1期生のお友だちがジュニアユースの選手として継続し、より長くYMCA 会員として携わってくれるお友だちもいます。

野外活動は今年度も引き続き充足率が高く、トムソーヤクラブは多い時は60人で活動していました。雰囲気も良く、元気なお友だちがたくさん集まりました。自炊体験・野外フィールドでの体験など貴重な体験を提供できました。年度末の3月の例会で保護者から「この手作り感のある卒トム式いいですね。これからも続けていってください。」という声も頂けました。大学生のボランティアリーダー会及び研究生会は一人ひとりが責任感をもち、充実したリーダー活動ができました。それぞれの活動フィールドで、“みつかる つながる よくなっていく”のスローガンをもとに子どもたちの心を育みつつ、自身の人格の幅を広げるための場の提供が出来ました。



スポーツ教室



サッカー



野外自然学校

野外特別事業

夏季のプログラムは山のキャンプ（2泊3日）1コース・海のキャンプ（2泊3日）1コース・幼児小学生キャンプ（1泊2日）1コースを実施致しました。幼児小学生キャンプでは兄弟姉妹で参加する事ができ、キャンプファイヤーの時は幼児・小学生全員が集い60人程のキャンプファイヤーを行いました。1泊2日コースの小学生キャンプは今年初めてテント泊でのキャンプを実施しました。自然のリアル体験を満喫することが出来ました。今年度も大阪YMCA 合同での阿南中高生マリンキャンプにも参加しました。

夏のスポーツキャンプは3コース・集中クラス5コースを設定し、たくさんのお友だちが参加してくれました。夏の集中クラスで逆上がりが出来なかったお友だちが悔しくて、「冬も集中クラスに参加して絶対出来るようになる。」とリーダーに伝え、冬の集中クラスで「逆上がり出来るようになりました。」という嬉しい声も頂きました。

冬季・春季プログラムは去年と同様に志賀高原スキーキャンプ・ハチ高原わくわくスキーキャンプを実施しました。今年度は暖冬で雪の心配がありましたが、予定通り実施する事が出来ました。保護者からも「やって頂いて嬉しかったです。子どももとても楽しかったと言っていました。」という声を頂きました。

春期プログラムのデイキャンプは沢山のお友だちが参加し、幼児小学生が参加できる自炊デイキャンプでは60人のお友だちが参加してくれました。



野外活動げんきクラブ



芋掘



フリースクール 自炊



フリースクール 工作

フリースクール

日常は、例年通り午前学習、午後体育を行いました。

その中でスクール生一人ひとりが同じ空間を共にする他者とのように関わって
いけばいいかを学んだ1年でした。

毎年恒例のクリスマスコンサートでは一人ひとりが自分の気持ちに向き合いなが
ら新しい事にチャレンジし、本番では緊張しながらも堂々と演奏する事が出来ま
した。

学習も個々のペースを大切にしながら一人ひとりに寄り添った学習支援を行いま
した。

また月2回の芸術の日を設け、色あそびやキャンバスに絵を描くなど様々なアート
を楽しみ、スクール生はのびのびと自分を表現していました。

様々なところに出かけることで体験や経験値があがり視野も広がって他者理解に
繋がりました。

今後も居場所を必要とする人たちに寄り添いながら支援をしていきたいと思いま
す。

2023年度の歩み

フリースクール

- 4月18日(火) いちご狩り
- 6月 3日(土) 社会見学(薬師寺)
- 6月27日(火) 夏の遠足(海遊館)
- 7月 7日(金) セタ金魚すくい(大和郡山)
- 8月26日(土) 交流会
- 9月 9日(土) 蚕の市体験(コンベンションセンター)
- 9月25日(月) 秋の遠足 芋掘(信貴山のどか村)
- 10月28日(土) 秋の家族交流会
- 11月 8日(水) 秋の遠足(天王寺動物園)
- 12月 8日(金) クリスマスコンサート(やまと郡山城ホール)
- 1月24日(水) 社会見学(キッズ科学館ふおとん)
- 2月28日(水) フリースクール冬の運動会
- 3月18日(月) 卒業・修了式「あんたが主役」(平城野外活動センター)

2023年度の歩み

青少年センター

- 5月 4日(木・祝)～ 6日(土) 全国リーダー研修会
- 5月18日(木)・26日(金) 未就園児平城宮跡ハイキング
- 6月17日(土) 夏季プログラム会員受付開始
- 6月24日(土) 夏季プログラム一般受付開始
- 7月25日(火) 夏季プログラム開始
- 7月25日(火)～28日(金) 体操集中コースⅠ期
- 7月29日(土)～30日(日) サッカー淡路キャンプ
- 7月30日(日)～31日(月) 器械体操キャンプ
- 8月 1日(火)～ 3日(木) サッカー集中コース
- 8月 4日(金)～ 8日(火) 大阪YMCA合同阿南中高生マリンキャンプ
- 8月 6日(日)～ 7日(月) 幼児やまびこキャンプ
- 8月 9日(水)～11日(金・祝) 阿南海洋キャンプ
- 8月16日(水)～18日(金) みかたフォレストキャンプ
- 8月18日(金)～21日(月) 体操集中コースⅡ期
- 8月19日(土)～22日(火) 大阪YMCA合同阿南フットサルキャンプ
- 8月20日(日)～21日(月) 新体操羽衣キャンプ
- 10月22日(日) 奈良YMCAチャリティラン
- 10月27日(金) 未就園児芋掘
- 11月 4日(土) 冬季・春季プログラム会員WEB受付開始
- 11月11日(土) 冬季・春季プログラム一般WEB受付開始
- 11月12日(日) 奈良YMCA国際協力募金街頭募金活動
- 12月 3日(日) 奈良YMCAジョイフルクリスマス
- 12月25日(月)～29日(金) 冬志賀高原スキーキャンプ
- 1月 5日(金)～ 8日(月・祝) 体操集中コースⅠ期
- 2月11日(日・祝)～12日(月・祝) 幼児雪遊びキャンプ
- 2月23日(金・祝)～25日(日) ハチ高原わくわくスキーキャンプ
- 3月 9日(土) 2023年度新年度新規会員WEB受付
- 3月17日(日) 奈良YMCAリーダー卒業感謝礼拝
- 3月24日(日) 幼児・小学生自炊ディナー
- 3月25日(月) 幼児染物体験&お花見ディナー
- 3月26日(火) 小学生二上山登山ディナー
- 3月28日(木)～31日(日) 体操集中コースⅡ期
- 3月29日(金)～31日(日) サッカー春合宿
- 4月 1日(月)～ 3日(水) サッカー集中コース

青少年センター

内 容	参加者数	活動日
幼児クラス (年間)	166名	月～土
少年体育クラス (年間)	44名	月・火・土
ユーススポーツクラス (年間)	313名	火～日
野外活動クラブ (年間)	63名	土・日・祝
知的障がい児体育クラス (年間)	3名	月

野外特別事業

内 容	参加者数	活動日
夏季キャンプ	108名	7月・8月
夏季体育集中クラス	89名	7月・8月
冬季・春季キャンプ	170名	12月・3月
冬季・春季体育集中クラス	93名	12月・3月

フリースクール

内 容	参加者数	活動日
フリースクール	8名	月・火・水・金・土



心のフリースクール



YMCA 学院高等学校 奈良センター

スイミング・ ウェルネス

レギュラーコース

2023年度は、YMCAの良さを知ってもらうため、誰でも参加できるような、ファミリースイミングなどを実施し、YMCAの会員の方以外にも多くの方に参加してもらい、楽しかったなど喜びの声や、多くの笑顔を見る事ができました。今後は、参加して終わりではなく、入会に繋がるようなアクションを起こしていきます。また、近隣の小学校の水泳授業も指導に行き、地域の活動に貢献する事ができました。毎年実施している、ウォーターセーフティーキャンペーンの活動も、もっと多くの方に知ってもらえるように取り組んでいきます。

短期集中

短期水泳は、夏休み、冬休み、春休みと多くの子ども達が参加してくれました。レギュラークラスと違って、5日間連続で行う事により、泳力の上達に効果があり、ワッペンが上がり、喜んでいる子ども達を見る事ができました。今後は、保護者のニーズも探りながら、プログラムを展開していきます。泳力を伸ばすと同時に、YMCAに来て楽しかった、またYMCAに来たいと思えるような取り組みをしていきます。

ウェルネス

会員の皆様の、心と身体の健康を守る為に、プールプログラムや、ヨガ教室、ストレッチ教室、アクアビクスなど、個々にあったプログラムを提供してきました。ただ単に、プログラムを提供するのではなく、一人一人に寄り添い、いつまでも、心身ともに、いきいきとした生活を送れるように取り組んできました。多くの会員の方からは、YMCAが生きがいであり、YMCAに来ると元気になるという声をいただいています。今後は、会員の皆様だけでなく、地域の方々にもYMCAの良さを広めていきたいと思っています。

2023年度の歩み

4月23日(日)	奈良県ジュニア春季水泳記録会(スイムピア奈良)
6月18日(日)	ウォーターセーフティーキャンペーン
6月24日(土)～25日(日)	奈良県選手権水泳競技大会 兼奈良県ジュニア選手権水泳競技大会 兼全国JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会予選会(スイムピア奈良)
7月30日(日)	奈良県ジュニア夏季水泳記録会(スイムピア奈良)
8月16日(水)	全国YMCA水泳大会(東和薬品 ラクタブドーム)
11月 5日(日)	奈良県ジュニア秋季水泳記録会(スイムピア奈良)
11月19日(日)	YMCA水泳交歓会 神戸学園都市YMCA
1月14日(日)	奈良県ジュニア新春水泳記録会(スイムピア奈良)
2月18日(日)	中日本水泳大会 大阪YMCA(東洋薬品ラクタブドーム)
2月17日(土)～18日(日)	全国JOCジュニアオリンピックカップ 春季水泳競技大会予選会(スイムピア奈良)



レギュラーコース



レギュラーコース



全国YMCA水泳大会



レギュラーコース

スイミングレギュラーコース

内 容	参加者数	活動日
幼児・小学生水泳クラス (年間)	799名	月～日
障がい児水泳クラス (年間)	3名	日

スイミング短期集中・野外

内 容	参加者数	活動日
夏休み水泳教室	415名	7月・8月
冬休み水泳教室	91名	12月
春休み水泳教室	132名	3月

ウェルネス

内 容	参加者数	活動日
ウェルネスコース (年間)	140名	月～日
スクールコース (年間)	30名	月～土



スイミング教室

芸術文化センター



音楽院

多種にわたるクラスを展開しており、4歳児～シニア世代まで生涯を通して楽しめます。今年は、音楽に触れる楽しさをより知ってもらいたいと思いと気軽に参加できる機会をと思い、“音楽4回お試しレッスン”を夏に企画しました。ピアノとヴァイオリンのみの実施でしたがお試しレッスン後に入会へと繋がり、音楽の楽しさを感じていただくことができました。

音楽院コンサートは、第48回を迎え77名の出演でした。生徒のみなさん一人ひとりが日頃のレッスンの成果を發揮され素晴らしいコンサートとなりました。生徒の皆様の演奏だけでなく、今年は4年ぶりに講師演奏を復活させ、音楽院の先生に演奏を披露していただけたことは好評でした。音楽療育“ピッコロクラス”の「ピッコロクラスコンサート」も昨年同様に奈良市北部会館にて開催しました。中には、20年ぶりのコンサート参加の方がおられ、参加して良かったと言っていたが、継続して開催していることの意味を実感できました。

アートアカデミー

少年書道の講師を増員し、より充実した指導ができました。中でも少年書道はその成果もあり年度末の作品の条幅は堂々と書くことができました。“児童絵画造形クラス”“絵画療育ミネルヴァクラス”では今年度、「共同作業」に取り組みました。曜日別クラス別で、みんなで一つの作品に取り組み、作品展に展示する動物を作成しました。大変な作業ではありましたが、みんなで協力して作る過程において、塗りたい色の相違をどうやって解決するか、こんな風な感じにしたい自己主張など一人ひとり違いはありましたが、子どもたちの中で自然と解決策を見出して創り上げることができました。作品展の会場は、創った動物に招かれインパクトある会場となりました。

シーズン期間にもアートプログラムを企画し、たくさんの方々に奈良 YMCA のアートの魅力に触れていただくことができました。

サマースクール・ウィンタースクール・スプリングスクール

長期休暇期間中のプログラムで、朝から夕方まで YMCA で過ごすシーズン YMCA スクールです。今年度は、より参加しやすくするため日数を5日間から4日間と変更し3期実施しました。どの期間も好評でたくさんの子どもの参加でした。中でも今年は季節に応じたプログラムをしっかりと吟味して企画し、3期ともに人気だったのは、やはり「お出かけプログラム」で、ミッドミュージアム・大阪自然史博物館・食品サンプル体験と館外へ出ていきました。公的マナーを守ることや、教えてくれる人の話を静かに聞くなども伝え、みんなしっかり約束を守り、楽しく活動できました。春の野外炊飯は、天候は雨でしたが屋根付きの野外センターなので予定通り野外で活動できました。その中で、木材が湿ってなかなか火がつかない経験や毎日家族の方が食事を作ってくれることの大変さを自分たちで感じ、また仲間と協力して作るご飯は格別に美味しいと感じました。

毎日終日仲間と過ごすことで、日に日に結束は固まっていき「次回も一緒に参加しようね」と子どもたち同士で約束をする姿を見られたことは、このプログラムを実施することの価値を感じることであった年となりました。

2023年度の歩み

4月30日(日)	奈良YMCA60周年記念コンサート
6月17日(土)	サマーアート一次web受付
6月24日(土)	サマーアート二次web受付
7月22日(土)～23日(日)	サマーアート 貯金箱をつくろう
7月23日(日)	サマーアート リボンローズジュートバッグ作り
7月25日(火)～28日(金)	サマースクール 4日間
8月 7日(月)～ 8日(火)	サマーアート、クラシックバレエ 2日間
8月31日(木)	足蒸し&耳ツボ体験会
10月 8日(日)	音楽院コンサート1日目
10月15日(日)	ピッコロクラスコンサート
10月29日(日)	音楽院コンサート2日目
10月31日(火)	足蒸し&耳ツボ体験会
11月 4日(土)	ウィンター・スプリングプログラム一次web受付
11月11日(土)	ウィンタープログラム二次web受付
12月 3日(日)	二科展表彰式
12月 5日(火)	足蒸し&耳ツボ体験会
12月10日(日)	ウィンターアート リボンローズスワッグ
12月25日(月)～28日(木)	ウィンタースクール 4日間
3月 2日(土)～ 3日(日)	第37回ミネルヴァクラス作品展 第49回児童絵画造形教室作品展 第52回YMCA作品展 スプリングスクール4日間
3月23日(土)～24日(日)	
3月25日(月)～28日(木)	

音楽院

内 容	参加者数	活動日
幼児・青少年音楽クラス (通年)	45名	月～日
成人音楽クラス (通年)	89名	月～日
音楽療育クラス (通年)	31名	月～土

アートアカデミー

内 容	参加者数	活動日
児童絵画造形クラス (通年)	20名	水・土
洋画・油絵・デッサンクラス (通年)	24名	金・土・日
少年・成人書道 (通年)	17名	火
バレエクラス (通年)	31名	月・金・日
絵画療育クラス (通年)	15名	火・土
幼児・小・中・高・成人講習会 (季節)	23名	1回 (夏期)
幼児・小・中・高・成人講習会 (季節)	5名	1回 (冬期)
幼児・小・中・高・成人講習会 (季節)	4名	1回 (春期)
サマー・ウィンター・スプリングスクール (季節)	47名	年間3期



音楽院・アートアカデミー

発達支援事業

児童発達支援“ことりクラブ”

放課後等デイサービス“おおぞら”



ことりクラブ小麦粉絵具



おおぞら金曜日クラス



ことりクラブ・おおぞら 合同冬の特別プログラム



ことりクラブ体育あそび



おおぞら 若草山

児童発達支援“ことりクラブ”の今年度の取り組みは、「感触遊びを多く取り入れよう」でした。4月が始まってから、小麦粉をお湯で溶かして絵具を混ぜてトロトロの小麦粉を素手で触ってみたり、絵を描いてみたりしました。また、スライムや小麦粉ねんどあそび、そして折り紙もたくさん折る機会を設けました。折り紙は、子どもたちも回を重ねるごとに折り目の付けかたなどが上手になっていき、自信がもてたようで、一人で電車や飛行機などを折って自分で作ったもので遊べるのが喜びとなりました。はさみを使うことにもチャレンジしました。簡単に短い直線切りから始まり、少しずつ直線をながくしていき、切った破片で工作もしました。歌が苦手なお友だちも、周りが楽しく歌うことでつられて一緒に歌って楽しむこともできました。毎回の体育あそびも、全身運動を中心とし、その中で「走る・飛ぶ・這う・のぼる・つかむ（握る）」の動きを多く取り入れて、粗大運動によって体幹の強化を目標にし、できることが増えていきました。のびのびいきいきと活動できた1年でした。

おおぞらは、各曜日お友だちとのつながりを大切に活動してきました。「一緒に活動するお友だちの名前を覚えて名前を呼ぼう!」を毎回のテーマに活動してきましたので、1年経つとみんなが名前（ニックネーム）で呼び合えるようになりました。「協力する・話し合いをする・自分の意見を言う・お友だちの意見を受け入れる・お友だちのすごいなあとと思うところを見つける」ことを共通にプログラムの中に取り入れて活動を展開してきました。毎回の活動の終わりの振り返りでは、お友だちが頑張ってると思ったこと。すごいなあ。と思ったことを言えるようになりましたし、言われたお友だちも照れながらも嬉しかったことと思います。自分と向き合うことも重要ですが、他者への興味をもつことも大切だと思う1年でした。また、地域の駄菓子屋さんの協力もありお店に行かせていただきお菓子を買って家族に喜んでもらえるお菓子ブーケを作るプログラムも実施し、地域の方とも繋がることもできました。今年も、館外特別プログラムを企画しましたが、今年のことりクラブとおおぞらで合同の特別プログラムを実施し、おおぞらの子どもたちは、ことりクラブの子どもたちの良いお手本となり、繋がりがもてたいい機会となりました。

2023年度の歩み

4月 1日(土)	放課後等デイサービス「おおぞら」新規登録者説明会
4月17日(月)	ことりクラブ・おおぞら2023年度開始
5月～7月・9月	ことりクラブプール活動 毎週木曜日午前
5月11日(木)～	ことりクラブ月・水・金曜日の午後に個別療育(希望者のみ)
10月 1日(日)	ことりクラブ秋の特別プログラム「キッズプラザへ行こう」
11月 3日(金・祝)	おおぞら秋の特別プログラム「京都市動物園へ行こう」
2月11日(日・祝)	ことりクラブ・おおぞら合同冬の特別プログラム 「京都市科学センターへ行こう」
3月18日(月)	ことりクラブ・おおぞら2023年度終了

内 容	参加者数	活動日
児童発達支援 ことりクラブ	29名	月～金
ことりクラブ個別療育利用者	7名	月・水・金のいずれか(月1回)
放課後等デイサービス おおぞら	36名	月・火・水・金・土



発達支援

子育て支援事業 “ポップクラブ”

新1年生をたくさん迎えることができ、4月から元気にスタートしました。新しく1年生が教室に入ってくると「ようこそ、ポップクラブへ!」と言うように、高学年の子どもたちはお兄さん・お姉さんぶりを発揮し1年生をうまく誘導してくれ、横のつながりだけでなく縦のつながりが自然と育まれていきました。

今年の夏のイベントは、「キッズブラザ」へ出かけ、小グループ別で行動しました。自分だけが行きたいところへ行くのではなく、年下のお友だちの意見も聞く等してうまく子ども同士で調整して廻ることができました。

クリスマス会では、ポップクラブ開設して初めてのダンスに挑戦!当日までにリーダーが考えた振り付けを日頃の保育の時間にみんなで練習し、クリスマス会当日も練習の成果を発揮して楽しいクリスマス会となりました。

今年度は、例年よりも子どもたちが主体性を持てるような環境を設定することができた1年で、一人ひとりの成長が見られました。



クリスマス会



ポップクラブ特別プログラム「キッズプラザ」へ行こう!

2023年度の歩み

7月24日(月)	紙相撲であそぼう
8月2日(水)	特別プログラム「キッズプラザ」へ行こう!
8月10日(木)	風鈴作りとシャボン玉
8月18日(金)	映画会
9月25日(月)～30日(土)	上半期写真販売
12月22日(金)	クリスマス会
12月28日(木)	大掃除
12月中旬～3月	新入会面接期間
3月7日(木)～15日(金)	下半期写真販売

*各月に誕生日会実施

内 容	参加者数	活動日
子育て支援プログラム	21名	月～金 ※土曜日実施日あり



子育て支援

地域奉仕事業

1. 中学校職場体験

富雄南中学校 11月8日(水) 9日(木) 10日(金)
伏見中学校 10月23日(月) 24日(火) 25日(水)

2. 水の安全キャンペーン

実施日 6月～8月

内 容 YMCA 水上安全ハンドブックを、近隣幼稚園、保育園、小学校にウォーターセーフティーハンドブックを配布した。6月18日(日)には、全国YMCAで取り組んでいる、ウォーターセーフティーキャンペーンとして、「みんな泳げる25m運動」や「着衣泳体験会」を実施した。

3. 学校関係指導者派遣

- ・大安寺小学校着衣水泳指導
- ・近畿大学附属小学校水泳指導
- ・一条中学校水泳指導
- ・ならやま小学校水泳指導
- ・親愛幼稚園体操教室(通年)
- ・近畿大学附属幼稚園サッカー教室(通年)
- ・近畿大学附属幼稚園新体操教室(通年)
- ・近畿大学附属幼稚園珠算教室(通年)
- ・近畿大学附属小学校サッカー指導(通年)
- ・白庭台幼稚園正課スポーツ教室(通年)
- ・白庭台幼稚園体操教室
- ・白庭台幼稚園サッカー教室

4. 西大寺まつり・伏見まつり

西大寺まつり 7月29日(土)
伏見まつり 11月4日(土)

地域の行事に参加し、地域の方々とともにふれあいながら“ダンス発表”や“シャボン玉体験コーナー”などを行いました。

5. 他団体協力(役員等就任等)

- ・奈良県キャンプ協会理事
- ・奈良県クラブユースサッカー連盟副理事長
- ・奈良県サッカー協会3種技術委員長・理事
- ・奈良県体操協会理事
- ・奈良県ユニセフ協会理事
- ・奈良県子ども若者支援団体協議会理事

ピンクシャツデー

YMCAは全国各地でピンクシャツデーに取り組んでいます。

2023年度も「いじめは一人で解決できないから」をモットーに、奈良YMCAでは、2月16日(金)～2月28日(水)を「ピンクシャツウィーク」とし、それぞれがプログラム活動の中で、YMCAピンクシャツデーTシャツやピンク色のものを

身に着けて活動し、ポスターやパネルなどの掲示や子どもたちに紙芝居を使ってピンクシャツデーの取り組みを通して「いじめ」について一緒に考える時間を持ちました。思いを寄せた写真や動画を奈良YMCA ホームページやFacebook、InstagramのSNS、日本YMCA 同盟 Facebook に投稿し、奈良YMCA 関係者やマスメディアを通して「いじめのない世界をめざそう」を呼びかけました。今年度も奈良ワイズメンズクラブの方々にもピンクシャツデーの活動に賛同していただき、ご協力いただきました。また、伏見地区のふれあい会館にもポスターを掲示していただき、地域の方々ともピンクシャツ運動を共有しました。ピンクシャツデー期間だけではなく、いじめをなくす働きかけを継続し、今後もすべての人々が過ごしやすき世の中を目指します。



社会福祉事業



お泊り保育の時に4歳児クラスの子たちが作ったお神輿

幼保連携型認定こども園 YMCA あきしの保育園

今年度はコロナウイルス感染症の対応が緩和されたことにより、保育園での行事や経験出来る事が増えました。0歳児クラスは少ない人数でのスタートとなり、途中入所の子どもたちが多く、月齢の差も大きいクラスでした。午睡室を活用しながら午前や午後の睡眠を保障して、心地良く過ごせるようにして行きました。1歳児クラスは少しずつ友だちに興味を持つようになり、電車やブロック、絵本等、同じ玩具や同じ場所で一緒に遊ぶ事を楽しんでいました。2歳児クラスはラーメンが好き、ピザを作りたい、赤ちゃんのお世話がしたい、お誕生日のケーキが嬉しかった等いろいろな事に興味を持ち、ままごと遊びを充実させながら過ごしました。3歳児クラスは年上児と一緒に製作をしたりお散歩に行ったりする機会を持つ事が出来ました。優しく教えてもらったり手伝ってもらったりしながら楽しく過ごす時間が増えました。4歳児クラスはお泊り保育を行い、子どもたちから「お祭りがしたい」という声が上ががり、お神輿を造ったり屋台を作ったりして他のクラスのお友だちを招待しました。晩ご飯は屋台メニューをバイキング形式で食べました。5歳児クラスはLOGOS LAND プラムイン城陽へキャンプに行っているような経験をしました。ふわふわドームや長いローラー滑り台で体を動かして遊んだり、三つ編みをしてサコッシュを作ったりキーホルダー作りをしました。焚き火ではマシュマロを焼いて食べたり、みんなで協力しながらミッションに取り組んだりしました。またお別れ会や卒園式では、たくさんの方にお祝いをしてもらうことが出来ました。制限されていたことで、職員も経験が出来ずにいた事もありましたが、子どもたちがどのような事に興味を持ち、どのように汲み取っていいか良いのかをみんなで考えながら保育を進めてきました。これからも子どもたちと一緒に初めて経験をすることがあると思います。どんな事も子どもたちの気持ちに寄り添い、楽しみながら毎日を過ごしていきたいと思っています。



0歳児クラスのお友だち



クリスマス礼拝を楽しみに待っている様子

YMCA 西大寺南保育園

長かったコロナ感染症の規制も緩和され、今年度は様々な活動を行うことが出来ました。2歳児は春と秋に近くの公園に遠足に行き、体育館を借りてお弁当を食べました。いつもと違う雰囲気の中での昼食にとっても喜んでいただいていた子どもたちでした。また、なら保育園とあきしの保育園との交流会も行うことが出来ました。同年代のお友だちと運動会遊びや触れ合い遊びと一緒に楽しむことが出来ました。4月から連携園にすすむ子どもたちも多いため、交流する場をもつことが出来て良かったです。

今年はクッキングもたくさん行うことが出来ました。えんどう豆の皮をむいたりほうれん草を手でちぎったり、しめじを手で割いたりとお手伝いをしてくれました。ババロア作りやパフェ作り、ホットケーキ作り、巻きずし作り等も楽しみました。また、オーロラソースやドレッシングを子どもたちの目の前で作ったことでいつもは嫌がって食べない野菜も進んで食べる姿が見られました。

夏には絵の具を使ってフィンガーペインティングや筆で大きな紙にお絵描きをしました。いつもと違って園庭でする遊びに興味深々に描いていた子どもたちです。また、噴水での水遊びや寒天遊び、色水遊びと開放的になって遊ぶことが出来ました。

ハロウィン遊びでは自分たちで作った衣装を着て、本館、プール、なら保育園に出かけて行きおかしをもらって来ました。最初は恥ずかしくて「トリックオアトリート」と言えなかった子どもも回数を重ねていき、大きな声で言えるようになりました。クリスマスにはイエス様の誕生日をみんなで祝いすることが出来ました。ハンドベルの音色を聞いたり、みんなでクリスマスの曲を踊って雰囲気を感じることが出来ました。

今年度はたくさんの遊びを行うことが出来、色んな経験をする事が出来ました。子どもたちにとって実りの大きい1年になったと思います。



節分巻きずし製作中

YMCA あきしの保育園
2023年度の歩み

- 4月24日(月) 進級式
- 5月19日(金) 5歳児遠足(YMCAグラウンド)
- 5月26日(金) 4歳児遠足(大和西大寺駅周辺)
- 6月 2日(金) 3歳児遠足(近隣公園)
- 6月26日(月) 5歳児介護老人保健施設 秋篠と交流会
- 7月28日(金)～29日(土) 4歳児お泊り保育
- 9月 8日(金)～ 9日(土) 5歳児キャンプ (LOGOS LAND プラムイン城陽)
- 10月 7日(土) 運動会
- 10月13日(金) 4歳児遠足(けいはんな記念公園)
- 10月20日(金) 5歳児(はぐくみセンター)
- 11月 1日(水) 5歳児介護老人保健施設 秋篠と交流会
- 11月 2日(木) 3歳児遠足(九条公園)
- 11月11日(土) お楽しみ会
- 12月 1日(金) おもちつき
- 12月20日(水) クリスマス礼拝
- 2月 9日(金) 5歳児お別れ遠足(京都水族館)
- 3月 8日(金) お別れ会
- 3月15日(金) 卒園式

人数報告

クラス年齢	在園人数
0歳児	15名
1歳児	24名
2歳児	24名
3歳児	28名
4歳児	29名
5歳児	26名
合 計	146名

YMCA 西大寺南保育園
2023年度の歩み

- 4月28日(金) 進級式
- 6月 5日(月) 2歳児春の遠足
- 9月 7日(木) 交通安全教室
- 10月16日(月) 2歳児秋の遠足
- 12月 7日(木) もちつき
- 12月19日(火) クリスマス礼拝・祝会
- 3月23日(土) 終了式
- 3月26日(火) お別れ会

人数報告

クラス年齢	在園人数
0歳児	5名
1歳児	6名
2歳児	10名
合 計	21名

YMCA なら保育園
2023年度の歩み

- 6月 9日(金) 3歳児遠足
- 7月28日(金)～29日(土) 4歳児お泊り保育
- 8月25日(金) お祭りあそび
- 9月 7日(木) 交通安全教室
- 9月15日(金)～16日(土) 5歳児キャンプ
- 10月14日(土) 運動会あそび
- 12月 7日(木) 餅つき会
- 12月25日(月) クリスマス礼拝
- 3月14日(木) おわかれ遠足「京都水族館」
- 3月23日(土) 卒園式
- 3月27日(水) お別れ会

人数報告

クラス年齢	在園人数
0歳児	13名
1歳児	16名
2歳児	17名
3歳児	17名
4歳児	20名
5歳児	18名
合 計	101名



保育園



5歳児キャンプ



保育園の畑で収穫できました

YMCA なら保育園

2023年度はなら保育園が開所して初めての5歳児おとまりキャンプを開催できました。なら保育園は、YMCAの保育園として野外活動を大切にしてきました。場所は京都市にあるLOGOS LANDに宿泊しました。テントでの宿泊ではありませんでしたが、日中は森のような自然豊かな施設の中をスタンパラーしながら散策したり、夜は焚火を囲んでレクリエーションの体験、就寝時は寝袋で寝たりと様々な経験をすることができました。保育園の特色としている野外活動イベントとしてキャンプを開催できたことは、大切な歩みになりました。また、4歳児も園内でのお泊り保育を実施できました。大好きな絵本「からすのパン屋さん」をテーマに楽しみました。実際にグループごとに近所のパン屋さんに協力していただき、朝食用のパンを買いに行く経験もできました。地域とつながる、保育園を知ってもらうことは職員にとっても大きな力に繋がりました。他にも活動の制限が解除され、たくさんの食育活動として調理保育(クッキング)を2歳児から楽しむことができました。小さな畑ですが、園庭に砂場のように畑を作ったことでどのクラスも野菜を年中親しむようになりました。2024年度4月1日からはYMCAならこども園として幼保連携型認定こども園に移行しました。今後は、なら保育園での経験を大切に地域の方やYMCAの会員の方々にもYMCAならこども園として交流できるように活動していきたいと思います。地域への子育て支援として園のイベント(誕生会等)へのご招待や、園庭開放等も順次ご案内できるように努めたいと思います。そして保育内容としては野外活動、自然保育を大切に、五感を育てる保育をしていきます。園庭にも自然物をこれから増やして子どもたちと一緒に育て仲間にしていける環境づくりに励みます。



4歳児お泊り保育「パン屋さんに買い物」

私たちは障がいのある子どもたちを応援します。

第12回 奈良 YMCA インターナショナルチャリティーラン2023

第12回奈良 YMCA インターナショナル・チャリティーラン2023が、2023年10月22日（日）、奈良市平城宮跡で実施されました。個人ラン5kmの部32名、個人ラン2kmの部15名、グループラン2kmの部43組・166名、団体駅伝5kmの部12チーム・60名。総勢273名、協力者80名、応援150名の総勢約500名の大会規模となりました。YMCA インターナショナル・チャリティーランは、全国の YMCA が障がい児支援を目的に実施され、障がいのある子どももそうでない子どもと共に幸せに生きていくことのできる社会を目指して開催されています。

今回は、昨年同様に4種目で競技を実施しました。当日は天候にも恵まれ、ベビーからシニアの方まで、多世代の方が参加され、笑顔があふれていました。今年も、工夫を凝らしたコスチュームで参加される方もおり、みんなを楽しませてくれました。今年も、いろいろな方に楽しんでもらえるように、保育士による『うちわづくり』や『サーキットコーナー』、またチームローズ（高校時代のチアのチームで活躍された方たちで結成されたチーム）による『みんなで踊ろうハロウィンダンス』を実施し、参加者や応援の方に、競技以外でも楽しんで頂く事ができました。

協賛金と参加費を合わせて、総額1,333,695円の寄付金を頂きました。この集められた収益金は障がい児やサポートを必要とする子どもたちの支援金として活用させていただきます。大会趣旨にご賛同、ご支援、ご協力頂いた皆様、ありがとうございます。



創立60周年記念 感謝会



写真家 遠藤徹郎氏の作品

2023年7月2日(日)

奈良公園バスターミナルレクチャーホールにて創立60周年記念「感謝会」を開催いたしました。当日は関係企業や団体の皆さま、会員の皆さま、スタッフ含め約100名のご来場となりました。

感謝会では創立60周年記念募金報告と使途目的の紹介、感謝表彰、ご来賓の皆様のご紹介、来賓代表として奈良 YMCA サッカークラスの元会員でありますトヨタユニテッド奈良株式会社取締役営業本部長 菊池正太郎様よりご挨拶をいただきました。

その後、奈良 YMCA 音楽院マンドリン講師でもある石村隆行氏によるマンドリンの演奏、奈良 YMCA60周年の歴史を振り返り、閉会といたしました。

また、長年にわたり奈良 YMCAに通う子どもたちの豊かな表情を撮影していただきました写真家 遠藤徹郎氏の作品が会場の外に飾られ、懐かしさと温かい雰囲気に包まれました。

今回の募金は皆さまが気持ちよく利用できる施設整備（奈良 YMCA あきしのランドお手洗い・奈良 YMCA 別館お手洗い）へと活用させていただきます。

改めて感謝申し上げます。

募金総額：5,666,595円



国際協力募金

YMCAの国際協力活動の一環として、全国のYMCAが一致協力し、国際協力募金キャンペーンを実施しました。

キャンペーン期間は、2023年11月1日（水）～2024年1月31日（水）までとし、世界に広がるYMCAと共に定めた行動計画「Vision2030」を念頭に置き、ウクライナ避難者支援、アジア地域の子どもたちの支援、パレスチナ支援、ユース支援、被災地域支援等を目的に、多様な文化や価値観が存在する世界で、一人ひとりが大切にされ、だれ一人として取り残されることのない、平和な社会を目指すこと、国際理解を深める機会として実施しました。

キャンペーン期間中には、昨年度まで新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施していなかった街頭募金を今年度より実施しました。街頭募金は、2023年11月12日（日）に実施し、奈良市内、生駒市内の駅を中心に5か所で活動しました。出発式では、世界情勢やお金の価値について学習し、自分たちの活動の意義を確認しました。4年ぶりの街頭募金でしたが、街中では多くの方にお声をかけ、献金のご協力をいただきました。街頭募金において、総額228,739円の献金をいただきました。

活動を広める取り組みとして、日頃より関わりのある方々に協力をお願いし、店頭にパーソナルボックスも設置していただきました。昨年に引き続き、学生リーダーを中心に募金のPRとして動画を作成し、奈良YMCAホームページやSNSにて配信しました。また、館内に募金のポスターとして「みんなの募金寄付でできること」を貼りだし、募金に協力していただいたお金でこういったものを買うのかを掲示し、多くの方に募金の意義を啓蒙することが出来ました。

【募金総額】 815,866円

【募金使途】

（委託先）	（委託金額）
（公財）日本YMCA 同盟国際協力募金	400,000円
パレスチナ支援募金	100,000円
能登半島地震 YMCA 緊急支援募金	200,000円

【協賛団体】 明光開発（株）、リフレ建設（株）、前田司法書士事務所

【協力団体】 親愛幼稚園、奈良大学附属幼稚園、白庭台幼稚園、近畿大学附属幼稚園・小学校、ファミリー歯科、グリーンスポーツ、日本基督教団奈良教会、伏見まつり、招福庵

（順不同・敬称略）



能登半島地震 YMCA 緊急支援募金

2024年1月1日16時10分ごろ、石川県能登半島を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、石川県能登半島を中心に甚大な被害が発生しました。

「石川県情報共有会」で、多くの方が避難生活を強いられ、そこに十分な支援が届いていない状況が報告されました。

こうした現状を踏まえてYMCAはこれまで取り組んできた災害支援活動の経験やノウハウをもとに避難所運営サポート、被災者のリフレッシュなど、被災された方や支援者の心身の安全を最優先にした支援活動を展開しました。

奈良YMCAでも、緊急支援募金、1.5次避難所へのスタッフの派遣を行い、支援活動を実施しました。

内閣府と日本YMCA 同盟からの依頼をもとに、2024年1月22日（月）～2024年1月25日（木）の4日間、石田司スタッフ（スイミング・ウエルネスセンター）が金沢市の1.5次避難所「いしかわ総合スポーツセンター」に派遣され、全国YMCAの仲間とともに活動してきました。現地では、毎朝、全体会議があり、その日1日の課題や役割を全体に共有し、その後、医療・保険・福祉会議があり、夕方全体会議で新たな課題や反省点・出来事を共有し、運営会議では問題点を話し合い、改善につなげるという働きをしました。現在も、多くのYMCAスタッフが現地で活躍しております。

また、能登半島地震緊急支援募金では、2024年3月31日（日）までを、一次募金期間とし、多くの方にご支援・ご協力をしていただきました。

【募金総額】 464,016円

【内 訳】

国際協力募金からの支援金	200,000円
会員の皆様からの支援金	264,016円

これらの支援金は、日本YMCA 同盟を通じて、被災地支援に用いられます。



1.5次避難所の様子

賛助会員 (2023年度・敬称略)

<法人・団体賛助>

(株)イタクラエナジーズ	代表取締役	板倉 昌三
共同精版印刷(株)	代表取締役社長	近東 宏佳
(有)グリーンスポーツ	代表者	横寺 大介
(株)甲南保険センター	代表取締役社長	武田 一男
三和住宅(株)	代表取締役社長	小林 正樹
奈良 OA システム(株)	代表取締役	松本 知
奈良交通(株)	代表取締役社長	田中 耕造
(株)奈良新聞社	代表取締役社長	田中 篤則
前川(株)	代表取締役社長	前川 貴洋
明光開発(株)	代表取締役社長	奥西 信夫
大和信用金庫西大寺支店	支店長	早川 秀人
リフレ建設(株)	代表取締役	森口 浩一
コール・マスキール		
タリス室内オーケストラ		
奈良 YMCA 善意通訳協会 (E.G.G.)		
ハート・ハース		

以上12社・4団体

<個人賛助>

上 田 清	五 味 雅 美	山 口 孜
植 田 國 義	佐 藤 肇 子	吉 田 全 孝
内 田 彩 子	高 橋 裕 子	
遠 藤 徹 郎	豊 澤 安 男	
遠 藤 通 寛	林 夏 代	
大 谷 昌 三	人 見 晃 弘	
紇 谷 隆	姫 嶋 淳 克	
神 谷 尚 孝	平 田 洋 子	
神 谷 一 恵	細 山 勝 道	
金 智 重	望 月 強	

以上22名

<維持会員>

東 静 司	佐 々 木 誠 継	藤 井 辰 男
市 本 貴 志	佐 藤 公 一	前 田 敏 宏
岩 本 二 三 子	汐 碓 直 美	前 田 未 帆
植 田 修 二	穴 戸 秀 子	松 川 和 子
内 田 勝 久	穴 戸 良 朗	水 田 典 男
奥 村 威 俊	島 村 知 歩	水 野 藤 男
貝 本 泰 男	杉 浦 文 子	三 枝 隆
門 野 文 彦	高 井 亮 吉	百 本 淑 子
川 哲 郎	高 田 嘉 昭	山 口 ル ミ
神 崎 清 一	高 橋 文 子	山 田 静 代
北 林 秀 一	田 中 幸 一	山 本 薫
北 林 秀 彦	辻 健	与 語 章 浩
北 林 成 子	德 田 信 一	吉 岡 正 昭
木 下 修 平	中 井 敬 一	渡 辺 新 久
北 村 高 史	中 野 祥 男	
熊 巳 由 佳	鍋 島 勉	
蔵 之 上 潔	濱 田 佑 幸	
栗 原 宏 介	林 平 井	
黒 田 幸 司		

以上52名

役員一覧 (2023年度・敬称略)

【奈良 YMCA】

会 長	北林 秀彦	副 会 長	鍋島 祥男
常議員会			
常議員会議長	前田 敏宏	常議員会副議長	熊巳 由佳
常 議 員	北林 秀彦 濱田 勉 中井 信一 北村 高史 山口 ルミ 水田 典男 山出紗野香	鍋島 祥男 辻 亮 内田 勝久 熊巳 由佳 汐碓 直美 前川 琴風 福井 香	德田 健 佐藤 公一 前田 敏宏 林 佑幸 神崎 清一 村上 一志 上地 信親

【公益財団法人奈良 YMCA】

理事会代表理事	鍋島 祥男	上地 信親	
理 事	辻 亮 熊巳 由佳	濱田 勉	前田 敏宏
監 事	神崎 清一	水田 典男	
評議員会評議員	北林 秀彦 北村 高史 山口 ルミ	德田 健 汐碓 直美	佐藤 公一 中井 信一

【社会福祉法人奈良 YMCA】

理事会理事長	濱田 勉		
副 理 事 長	上地 信親		
理 事	北林 秀彦 瀬川実沙子	佐藤 公一 水口 嘉代	栗原 宏介
監 事	内田 勝久	德田 健	
評 議 員	鍋島 祥男 中井 信一 汐碓 直美	瀧口 勇 林 佑幸 高橋 豪仁	太村 孝江 松野 五郎 村上 一志

奈良YMCA賛助会員募集のご案内

皆様からのご支援によって支えられています

障がいのある子どもたちの
プログラム支援



ユースリーダーの養成



国際・地域奉仕や緊急支援



公開講座・研修会



奈良YMCAは、青少年の健全育成、障がいのある子どもたちのサポートプログラム、国際理解、文化教養、様々な世代の皆さんへのウェルネスプログラム、そして、ユース世代のリーダーシップ力養成、国際・地域奉仕や緊急支援など幅広い活動を展開し、心豊かな人々が息づく地域社会づくり、そして平和な世界の実現のために力を注いでいます。

これらの活動はYMCA賛助会員の皆様からのご寄付によってお支えいただいております。

ぜひ奈良YMCAの活動の趣旨にご賛同いただき、少しでもこれらの活動の輪を大きく広げるため、賛助会員としてご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

賛助会の種類 と年会費

個人賛助会費

A	30,000円以上
B	20,000円以上
C	10,000円以上
D	5,000円以上

法人賛助会費

A	50,000円以上
B	30,000円以上
C	20,000円以上
D	10,000円以上

団体・グループ

A	20,000円以上
B	10,000円以上
C	5,000円以上

寄附金控除・ 税制優遇措置 のご案内

公益財団法人奈良YMCAの賛助会費は、所得税、法人税、一部の自治体の住民税において、それぞれに定められている条件を満たすことで、税制優遇措置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。※なお、税額控除を受けるためには確定申告が必要です。

公益財団法人奈良YMCA本部事務局
<https://www.naraymca.or.jp/>

TEL 0742-45-5920



奈良YMCAの活動拠点



奈良YMCA本館

〒 631-0823 奈良市西大寺国見町2-14-1
青少年センター TEL (0742) 44-2207
芸術文化センター・教育センター TEL (0742) 44-2291
法人本部 TEL (0742) 45-5920



奈良YMCAスイミング・ウェルネス

〒 631-0824 奈良市西大寺南町14-27
スイミング・ウェルネス TEL (0742) 47-8822



奈良YMCA別館

YMCA西大寺南保育園
〒 631-0823 奈良市西大寺国見町1-7-31
TEL (0742) 44-2525



YMCAあきしのこども園

社会福祉法人奈良YMCA法人本部
〒 631-0813 奈良市秋篠新町338
TEL (0742) 49-2525
(2024年4月名称変更)



YMCAならこども園

〒 631-0824 奈良市西大寺南町14-24
TEL (0742) 48-2525
(2024年4月名称変更)

奈良YMCA活動報告書 2023 - 2024

発行年月日：2024年7月1日 印刷・製本：共同精版印刷株式会社



FSC® マークは、森林破壊や違法伐採等の環境・社会的な問題のリスクの低い原材料が責任を持って調達され、使用されていることを意味します。